

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		県単道路改築事業		路河川名等	(一)川口大町線			
事業毎の通番		5	市町村名	大町市	箇所名(ふりがな)	大塩(おおしお)		
事業概要	事業目的	本路線は緊急輸送路(2次)及びバス路線であるが、当該区間は幅員もせまく急カーブもあることから交通事故も発生しており、地元から早期の改良を求められている。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-2 地域防災力の向上(災害に強い建物・道路等の整備) 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法			
	関連する事業、計画等	-						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量 : 393台/日						
	着手年度	平成27年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成30年度	費用対効果	1.1	国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容(主な工種)	道路改築 L=700m W=5.5(7.0)m			200,000		180,000	20,000	
年度事業内容(主な工種)	測量 一式			2,000		7,200	800	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	緊急輸送路(第二次)の整備 バス路線の整備						
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進						
評価の視点	必要性	○計画自動車交通量 : 393台/日 ○代替道路の有無 : 有 ○交通結節点アクセス : 北大町駅(2次アクセス) ○生活支援・観光振興 : 安曇野総合病院、新行高原					評価	B
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 県民生活の安全確保、快適で暮らしやすいまちづくり ○緊急輸送路の路線指定 : 2次路線 ○地域指定 : 積雪地域					評価	B
	効率性	○費用対効果(B/C) : 1.1 ○事業期間 : 4年間 ○工法等の比較検討 : コスト縮減に関する工法比較検討予定 ○他事業との連携 : 無し					評価	B
	緊急性	○近年の交通事故件数 : 近年5年間 H24.11.07 H26.06.19 ○渋滞及び騒音・振動の緩和 : 落石危険個所の安全性の向上 ○歩道整備 : なし ○現況の幅員、半径、勾配 : 最小幅員 W=5.0(6.0)m、縦断勾配 最大 4%、平面曲線 最小 R=20					評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有 : 支所及び地区役員に周知 ○地域の取り組み : 県道川口大町線道路改良促進期成同盟会、地元地区からの改良要望あり ○地域の合意形成 : ○住民との協働 : 今後住民の関与が見込まれる					評価	B
	部意見	事業の効率性、計画熟度が高いため、平成27年度から事業化したい。	行政改革課意見	必要性は認められる。	評価結果	総合評価		
				O	B			

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)		
事業周辺環境	【整備の必要性がわかる状況写真等】		
	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該路線は長野市大岡甲字川口と大町市大町を結ぶ重要路線で、当該区間は緊急輸送路(2次)に指定されている。当該区間は緊急輸送路に指定されている区間で唯一幅員が狭く、大型車のすれ違いが困難である。また、急カーブ箇所は事故が多く地元から早期の改良が望まれている。	
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	「県道川口大町線道路改良促進期成同盟会」要望 大町市及び地区要望	
	③事業説明等の経緯	大町市美麻支所打合せ(H26.10)	
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	特になし	
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	計画区間付近には「カタクリ」の群生地などがあることから、これらをの保全を図る。	
⑥地域活性化への影響と配慮	美麻地区からの大町市街地へのアクセス性の向上による地域産業への支援効果が期待される。		
⑦その他	緊急輸送路指定区間の未改良区間	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36度32分5秒 東経:E 137度53分28秒